

## 平成 27 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立豊里小学校 学校協議会

## 1. 総括についての評価

今年度の学校の自己評価は概ね妥当である。

児童や保護者アンケートの結果も良好で、学校の教育活動が肯定的に捉えられていることがわかる。学力・運動能力ともに満足いく結果ではないが、数値に表れる結果だけに左右されるのではなく子ども達が人として健やかな成長を遂げることに尽力してくれていることがわかる。「豊里のこども」として胸をはれるようなオンリー 1 の教育を更に推進してほしい。

## 2. 年度目標ごとの評価

## 【視点：学力の向上】

①平成 27 年度末の学校アンケートにおける「国語の授業はわかりやすい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 70%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

○達成状況の評価に関しては妥当である。

学級文庫や並行読書など、学校が「読書活動」に力を注いでいることがわかる。恵まれた環境の中で国語教育を推進できていることは評価できる。

## 【視点：道徳心・社会性の向上】

②平成 27 年度末の学校アンケートにおける「しっかりとあいさつや返事をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

③平成 27 年度末の学校アンケートにおける「学校のきまりを守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

④平成 27 年度末の学校アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 70%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

○達成状況の評価に関しては妥当である。

行動の変化は見られるが、まだまだ教師指導の段階である。児童自ら行動できる意識変革に努めてほしい。「豊里っ子」宣言のような、豊かな児童の心を育む取り組みや指導が大切だと考えている。さらに深化継続してほしい。

## 【視点：健康・体力の保持増進】

④平成 27 年度末の学校アンケートにおける「体育の時間や休み時間にしっかりと身体を動かしている」の項目について「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

⑤平成 27 年度末の学校アンケートにおける「給食を残さずに食べている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

○達成状況の評価に関しては妥当である。

体育や健康に関しての児童の意識は好意的である。残念ながら、意欲と結果が伴っていないが、子ども達が元気に生き生きとした学校生活を送っていることが何よりである。

「基本的な生活習慣」の全学年アンケートを実施していただいて感謝する。この調査を継続的に実施することで、より正確な子ども達の現状把握ができると思う、

## 3. 今後の学校運営についての意見

学校の状態が落ち着いているのは、教職員が一体となった取り組みが功を奏した結果であり評価することができる。学力テスト・体力テストともに高い評価結果はでていないが、数値ばかりにこだわる必要はない。学校に落ち着きがあり、子ども達が毎日楽しく笑顔で登校できる学校づくりが一番である。「豊里のこども」として胸をはれるような教育の推進にまい進してほしい。